

現代社会 学習指導案

日 時 令和2年10月23日(金) 2校時
 授業者 佐々木 周子
 場 所 秋田県立秋田中央高等学校 1年C組

- 1 使用教科書など 教科書：『現代社会』（東京書籍）
 資料集：『最新図説 現社』（浜島書店）
- 2 単 元 名 2 日本国憲法の基本原理
- 3 単 元 の 目 標 日本国憲法の三大原理である基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせるとともに、民主政治における個人と国家の関係について考察させ、民主社会に自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。
- 4 生徒の実態 男子15名、女子20名の計35名のクラスである。中学までの既習事項については定着度合いに差が見られるが、現代社会の諸課題に対する関心が高く、積極的に考察し、発言できる生徒が多い。
- 5 単 元 計 画
 ①日本国憲法と三つの原理・・・・・・・・・・1時間
 ②基本的人権の保障(1)・・・・・・・・・・3時間(本時2/3)
 ③基本的人権の保障(2)・・・・・・・・・・2時間
 ④新しい人権と人権保障の広がり・・・・・・・・1時間
 ⑤平和主義と安全保障(1)・・・・・・・・・・1時間
 ⑥平和主義と安全保障(2)・・・・・・・・・・1時間
- 6 単元の評価規準

| 関心・意欲・態度 | 思考・判断・表現 | 資料活用の技能 | 知識・理解 |
|--|---|---|--|
| 基本的人権の保障について、その実際的な意味、社会の変化に伴う新しい人権の要請などについて関心を高め、考えようとしている。 | 基本的人権の意義と、人権の性格による区分、公共の福祉との関わりや新しい人権の背景と意義について、多面的に考察している。 | それぞれの人権の意味を理解するため、日本国憲法の条文を活用している。さらに、基本的人権に関わる様々な事例、判例に関する資料を効果的に活用している。 | 日本国憲法に規定する基本的人権の意義と内容を理解するとともに、それが実際の社会生活とどのようにかかわっているのかを把握している。また、新しい人権が要請されている背景とそれらの内容について理解している。 |

7 本時の計画

(1) 本時の目標 平等の実現にむけて多面的に考察し、自分の考えをまとめよう。

(2) 学習過程

評価の観点： A 関心・意欲・態度 B 思考・判断・表現 C 資料活用の技能 D 知識・理解

| | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価の観点 |
|------------|--|--|---|
| 導入 (10) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育格差と子どもの貧困の関わりに気づく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 問：どうすれば子どもの貧困を解消できるか？ </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・ ケイパビリティの概念を振り返り、教育格差と子どもの貧困との関連を気づかせる。 | |
| 展開 (35) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 問いに対する自分の考えを、資料をもとに論述させる。(25分) ・ 互いの意見を発表し合う。(10分) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を読み、テーマと自分の考えに従って整理させ、その中でも最も注目したい資料を組み合わせて考えをまとめさせる。 ・ 異なる視点の意見を発表させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の資料を活用し、考察した内容を表現できているか。【BC】(プリント・発表) |
| まとめ (5) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の意見を振り返る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 他者の発表内容を踏まえて振り返らせる。 | |